

# 商店街IT企業集積を

## シリコンバレー構想始動

銀座通商店街振興組合(内田康雄理事長)などが取り組んでいる、まちなかシリコンバレー構想。大牟田市の街づくり基金の補助で整備した建物がオープン。商店街にIT企業を集積しようという取り組みが始まった。

まちなかシリコンバレー構想は、有明高専

電子情報工学科の石川洋平准教授の研究室で学んでいる学生たちが実際に使ってもらえるシステムを開発し、実践的技術教育実証の場として、商店街の店舗借り交流拠点を確保。

店舗では、学生と地域住民が交流する場所と、IT企業が入居。商店街に学生や研究者が集い、新たな交流を生み出すことと、アメリカのシリコンバレーのように先端技術を持つIT企業の集積地となることを目指している。

二十二、二十三日のオー



意欲を表すメンバー達

ている、野口卓朗君らの対談などがあつた。

野口君は二日間で、私たちが、どういったことを行うのかを、多くの皆さんに実感していただきました。商店街の皆さんも期待されているので、便利なコンピュータプログラムなどを開発、販売していくように頑張ります」と話した。

プログラミングイベントでは、大牟田大使の長友仍世さん(バンドinflixボーカル)や、大牟田商工会議所顧問の永利新一さん、学生たちの取りまとめ役で佐賀大学大学院に在籍し